

コミュニティ

社会貢献活動

203-1,203-2,413-1

基本的な考え方・方針

ユニ・チャームは、「事業活動そのものが社会貢献に資する」経営を推進しています。具体的には、当社が事業を展開している国・地域それぞれの特性に合致した商品・サービスを提供することによって、さまざまな社会課題を解決し、その地に暮らす人々から「ユニ・チャームが存在しない生活は想像もできない」と思っただけの企業市民になることを目指しています。

▶ 社会貢献活動に関する方針

当社は、事業展開を通じた地域・コミュニティとの共生が重要と認識しています。このため、当社の事業活動とつながりの深い分野や国・地域を重点に、その地域が抱える課題に真摯に向き合い、地域に貢献し得る各種の社会的な活動を通して、地域が抱える課題の解決や持続可能性への貢献を目指します。

社会貢献活動の重点分野

・健康 ・地域貢献 ・被災地支援

マネジメント体制

日本では、各部門および各法人が主体性を持って活動を展開しています。また、日本以外の国・地域では現地法人が主体となって、地域に密着した事業運営・社会貢献活動を展開しています。グループ全体の方針決定は、社長執行役員が委員長を務めるESG委員会において協議、決定しています。

社会貢献費用

2023年度の社会貢献費用総額は、159.7百万円(うち寄付38.0百万円)です。

SDGsの達成を目指し、より一層の地方創生につなげることを目的に、広範なステークホルダーとのパートナーシップを深める官民連携の場として設立された「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」に賛同しています。

地方創生SDGs
官民連携
プラットフォーム

取り組み・実績

【健康】#NoBagForMe

日本で2019年6月に開始した、ソフィ「#NoBagForMe」プロジェクトは、女性が自分に合った生理ケアを知り、選び、自分らしく生きられる社会の実現を目指して活動しています。2020年度からは、企業向け研修プログラム「ソフィみんなの生理研修*」を展開し、生理の仕組みや女性の健康に関する正しい知識を身につけることで、社内における性別や体質・体調の違いといった異なる立場の相互理解を促進してきました。「ソフィみんなの生理研修」を受講した30の企業・団体で行った「受講後の生理に対する意識と行動変化のアンケート調査」(2023年2月)では、73.3%が「『ソフィみんなの生理研修』の受講後、生理に対する考え方が変わった」と回答しています。

また、2023年4月には、学生ならではの目線で生理に関する正しい知識の普及啓発活動を行っている、品川女子学院の有志団体「CLAIR.(クレア)」と共同で、男女共学の品川翔英中学校・高等学校において「ソフィみんなの生理研修」を実施しました。

これまでに約430の企業・団体等に研修や動画提供を行いました(2023年12月末時点)。今後も、年齢や性別に関係なく継続的に生理に関する啓発活動を実施し、研修内容の拡充に努めます。



* 当社が社外の企業や団体を対象に“生理にまつわる知識向上と相互理解”を促進するための研修プログラムのこと

UN Women(国連女性機関)が主導する、メディアと広告によってジェンダー平等を推進し有害なジェンダーのステレオタイプ(固定観念)を撤廃するための世界的な取り組みである「アンステレオタイプアライアンス」の日本支部に加盟しています。



【健康】初潮教育・月経教育

当社は、アジアを中心とした初潮教育・月経教育を通じて、思春期の少女が女性の体や生理に関する正しい知識を得て、安全・安心な生理期間を過ごし、健康でその人らしく生きられるよう支援することを目指しています。

インドの現地法人では、2013年度に現地のNGOなどと協力して、生徒や学生に生理の仕組みや適切なケアを教える教育プロジェクトを開始し、2023年度までの11年間で約58万名が参加しています。2023年度には、デリー首都圏やマハーラーシュトラ州、ラジャスタン州などの1,000校以上の学校や大学で月経に関するセッションを行いました。

また、日本や中国、台湾-大中華圏、インドネシア、ミャンマー、ベトナム、タイ、サウジアラビアにおいても、初潮教育・月経教育を行っており、Webサイトでの情報発信や教材・生理用品サンプルの提供を通じた啓発活動を継続しています。

▶ 各国・地域での初潮教育・月経教育の取り組み(2023年度実績)

	2023年度実績と内容
インド	- 初潮・月経教育(オンライン含む): 約97,000名(1,186校) - 母娘で学ぶセッション: 約450組(24回)
日本	- 初潮教育サイト「ソフィ はじめてからだナビ」を通じた情報発信 web https://jp.sofygirls.com/ja/home.html - 日本カルミック株式会社と連携し、初潮教育セットを提供: 約256,000セット
中国	- 寧夏回族自治区の女子中学生に生理用品サンプルと冊子「はじめてからだナビ」を提供: 約370名(4校) - 上海市の保護者のいない少女に生理用品サンプルと冊子「はじめてからだナビ」を提供: 約350名
台湾-大中華圏	- Webサイトを通じた情報発信 - 生理用品サンプルの提供: 15,000セット (小学校の保健教諭からの支援要請と下着ブランド「Been Teen」との連携)
インドネシア	- 初潮教育サイト「Charm Girl's Talk」登録者数: 82,000名(2023年12月末時点) web https://www.charmgirlstalk.com/ 『CHARM』の公式サイトやインスタグラム等で、生理や生理中の過ごし方、女性の健康についての情報を発信
ミャンマー	初潮教育プログラムの実施: 110,000名(241校)
ベトナム	さまざまなソーシャルメディアを活用した情報発信
タイ	『SOFY』ブランドサイトで初潮教育コンテンツを配信 web https://th.sofyclub.com/th/advice/howtocare/Sofygirlguidebook.html
サウジアラビア	サウジアラビア、イエメン、イラクなどの女子高生を対象とした生理に関する知識や対処方法を伝える出張授業の実施
エジプト	カイロ市内の中学校で正しい生理の知識や生理用品の選び方について授業を行い、生理用品を提供: 約3,000名(8校)



【日本】初潮教育セット



【中国】寧夏回族自治区の女子中学生に生理用ナプキンと冊子を配布



【インドネシア】「Charm Girl's Talk」



【タイ】「Sofy Girl Guide」

【健康】ピンクリボン活動支援

ピンクリボン活動は、乳がんに関する正しい知識を広め、早期発見・適切な治療の推進などを目的として世界的に行われている啓発活動です。当社も事業を展開している国・地域で本活動に協力しています。

ピンクリボン活動支援が16年目となる日本では、2023年度も特設応援サイト「ソフィ ピンクリボン」を開設し、乳がんに対する基礎知識や早期発見のためのセルフチェック方法などの情報発信を行うと同時に、『ソフィ ボディフィット』でピンクリボンデザインパッケージを期間限定品として発売し、その売上金の一部を寄付しました。また、乳がんの早期予防対策として、全女性社員の乳がん検診の受診費用を会社負担としています。さらに、毎年10月をピンクリボン月間として、社員はピンクリボンバッジを着用し、家族や身近な人たちと一緒に乳がんについて考える機会としています。



インドネシアの現地法人では、乳がん財団(YKPI)と連携して、2022年度の「Ayo SADARI Setelah Menstruasi(生理後に自己チェックしよう)」のスローガン発表に続き、2023年10月1日にジャカルタで開催されたカーフリーデーにファンウォークを開催しました。このイベントには、100名の乳がん体験者、YKPIメンバー、社員、そしてカーフリーデーに参加した一般の方など合計200名以上が参加し、約3kmを歩きました。今回の取り組みは生理用品ブランド『CHARM』として3回目のピンクリボン活動となり、乳がんの早期発見に貢献することでインドネシア人女性の健康意識の向上につながることを目指しています。



台湾-大中華圏の現地法人は3年ぶりに開催されたピンクリボンウォークに協賛し、完走賞として生理用ナプキン『蘇菲 天然原生棉』を提供しました。ピンクリボンウォークには、社員やその家族ら53名が参加しました。また、タイの現地法人でも大学、研究機関、他企業と協働し、乳がん検診を啓発するピンクリボン活動を実施しています。

【健康】デング熱に関する啓発活動

マレーシアの現地法人は、マレーシア社会福祉局と協働し、デング熱に関する啓発活動「#MamyPoko対デング熱キャンペーン」を実施しました。デング熱の感染者が大幅に増加した2023年度は、デング熱の感染リスクが高い5つの地域で、2023年6月に発売したベビー用紙おむつ『MamyPoko ANTIMOS Pants』を1,500パック配布しました。デング熱を媒介する蚊の発生を防ぐために、地域の清掃活動などの取り組みも行っています。



また、タイの現地法人では、工場近隣の地域住民を対象として、蚊や昆虫が嫌う成分を含むハーブ「シトロネラ」によるデング熱の予防に関する教育プロジェクトを推進しています。

【地域貢献】女性の経済的自立支援

インドの現地法人では、2021年度に現地のNGO「PURE India Trust」と協力して、農村地域に住む女性を支援するために「Project Jagriti*」を開始しました。本プロジェクトは、インドの農村部における生理用ナプキンの認知度向上と普及を目指すとともに、当社の商品を通じてインドの女性に就労機会を提供し、経済的自立を促進することを目的としています。2023年度は、ウッタル・プラデシュ州のブランドシャール地区とラジャスタン州のシーカル地区で新たに100名の女性起業家を選出・支援しており、女性起業家は本プロジェクトを通じて継続的な収入を得ています。

また、本プロジェクトでは、選出された女性起業家を中心に、農村部の女性を対象とした月経に関する正しい知識を広めるための啓発活動も展開しています。2023年度は、約300回の啓発セッションを実施し、12,000名以上の女性と少女が参加しました。このセッションでは、月経周期に関する知識を提供し、参加者に生理用ナプキンの正しい使い方を伝達することで、地域社会における月経衛生習慣の改善に貢献しています。

*「Jagriti」は「目覚め」の意



女性起業家による
ショップのオープン



月経に関する啓発セッション

【地域貢献】「GO WITH わんこ プロジェクト」

当社では、2022年度より愛犬と一緒に安心して出かけられる場所や時間を増やしていく「GO WITH わんこ プロジェクト」を推進しています。

2022年11月に株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメントとパートナーシップ契約を締結し、北海道北広島市に開業した北海道ボールパークFビレッジの新球場「ES CON FIELD HOKKAIDO」内に、愛犬と一緒に野球観戦できる専用座席「ユニ・チャーム マナーウェア DOG SUITE」を2023年3月に設けました。さらに、6月には球場近くにドッグラン「ユニ・チャームDOG PARK」をオープンしました。「ユニ・チャームDOG PARK」には、小型犬から大型犬まで利用できる3種類のドッグランと洗い場が設けられています。

また、2023年10月には、日の丸自動車興業株式会社と協働で、『マナーウェア』を着用した愛犬とバスツアーを楽しめる「わんわんスカイバスsupported by GO WITH わんこ」を実施しました。



【被災地支援】社員参加型のマッチングファンド

2011年の東日本大震災直後より「被災地への継続的な支援」と「身近なエコ活動、節電を通じた環境負荷低減」を目的に「マッチングファンド」と「スーパークールビズ/ウォームビズ」活動*を継続しています。2023年度までの13年間でのべ28,488名の社員が参加しました。

これまでに、「マッチングファンド」による資金は、東日本大震災をはじめとする被災地への支援物資や義援金、ウクライナなどの戦災地への支援などに拠出しています。2023年2月のトルコ・シリア地震で被災された方々を支援する目的で、「マッチングファンド」を活用した義援金3,386,000円を国連UNHCR協会を通じて寄付しました。

* 就業中に着用できるオリジナルのポロシャツ、ジャンパーなどを社内で販売し、その購入代金相当額と同額を「マッチングファンド」として被災地へ支援する社員参加型の取り組み

【被災地支援】能登半島地震への支援

2024年1月1日に発生した能登半島地震により被災された方々に役立てていただくために、政府の要請に基づき一般社団法人日本衛生材料工業連合会を通じて、緊急支援物資(生理用ナプキン、大人用紙パンツ(紙おむつ)、ベビー用紙おむつ)を被災地に届けました。また、救援活動や復旧支援を目的に、日本赤十字社を通じて1,000万円を寄付するとともに、「マッチングファンド」を活用して社員から募った寄付金と合わせて5,013,000円も寄付しました。

▶ 主な2023年度の社会貢献活動

【健康】

医療機関/福祉施設等への支援等

- 韓国: 新生児集中治療室で保育器を使用する乳児などの支援(紙おむつ27,104枚)
- 韓国: 慈善団体が主催するパザーに生理用ナプキンなど(9,000枚)を提供し、利益を各種社会福祉団体に寄付
- ベトナム: ベトナム・ドイツ友好病院と協働して「愛のピンクのしずく-希望を与える」献血デーを開催(135名参加)
- ベトナム: 病院で高齢者の健康管理相談会を開催し、紙パンツを提供(1,600名以上の高齢者が参加)
- 台湾-大中華圏: 社員有志による募金活動(社会福祉団体United WayにNT\$518,000を寄付)
- 台湾-大中華圏: 社会福祉団体に商品を寄付
- インド: NGO団体The Earth Saviours Foundationと共同で寄付活動を行い、社員が施設を訪問して路上生活者と交流
- オーストラリア: がん評議会を支援するためお茶会(Australia's Biggest Morning Tea)を開催し、募金活動を実施(AU\$141を寄付)
- インドネシア: モジョケルト市の赤十字と協働し、工場で献血イベントを開催(約80名が参加)
- ブラジル: 社内で献血キャンペーンを実施(33名参加)
- 日本: 株式会社ツルハホールディングスと協同で札幌市社会福祉協議会へ車椅子(20台)、マスク(10,000枚)を寄付

ピンクリボン活動支援

- 日本: 16年連続で本活動に協賛。webサイトやパッケージ等を通じた啓発活動と対象商品の売り上げの一部を寄付
- インドネシア: 乳がん財団と協働し、ファンウォークを開催
- 台湾-大中華圏: ピンクリボンウォークに協賛し、生理用ナプキンを提供
- タイ: 乳がん検診の啓発活動

P.110 【健康】ピンクリボン活動支援

初潮教育・月経教育

- 各国・地域: 初潮教育や月経教育を実施

P.108 【健康】#NoBagForMe

P.109 【健康】初潮教育・月経教育

▶ 主な2023年度の社会貢献活動

妊婦教育・両親学級

- ミャンマー：妊娠中の女性に、妊娠期間中の栄養に関する知識と赤ちゃんの成長に合わせた紙おむつの使用方法などに関する講習会を実施(6,180名)
- 日本：江崎グリコ株式会社と協働で企業向け両親学級「みんなの育休研修」を実施

排泄ケア啓発活動

- 日本：地域や教育機関などと連携し「尿もれケア・排泄ケア」講座を実施(計39回／1,978名)
- インドネシア：インドネシア大学医学部と高齢者の床ずれについて共同研究を実施
- タイ：「タイ社会開発・人間安全保障省高齢者局」と高齢者の包括的な保健衛生ケアに関する覚書を締結
- タイ：工場の近隣コミュニティで在宅介護を支援する保健ボランティアの教育活動

ペット支援

- アメリカ：動物保護施設への商品寄付
- アメリカ：保護犬のための施設づくりを支援する活動「Hartz Loving Paws™」を実施(US\$30,000の寄付と社員18名の参加)
- 中国：犬や猫の保護活動を行うNGO団体にペット関連商品を寄付(約50,000人民元相当)
- 日本：日本動物病院協会の「アニマルセラピー 人と動物のふれあい活動」を支援

【地域貢献】

子育て支援への協賛等

- 日本：静岡県掛川市、鹿児島県志布志市、大崎町で出生時におむつを提供
- 日本：愛媛県「愛顔の子育て応援事業」、愛媛県四国中央市の紙おむつ支給事業に協賛
- タイ：学校でのこどもの日(1月の第2土曜日)の活動を支援(5校で870名の児童が参加)
- インド：西ベンガル州コルカタで紙おむつの普及啓発活動「Namaste Poko-chan PR Event」を開催
- 韓国：107ヵ所の施設で生活するひとり親家庭に生理用ナプキンとベビー用紙おむつを寄付(約600,000枚)

- オーストラリア：地域の子どもたちに乳母車や洋服、チャイルドシートなどを贈る慈善団体St Kilda Mumsが主催するボランティア活動を実施(11名参加)
- ブラジル：地域の産科病院との提携により低所得の母親にベビー用紙おむつを寄付(約60名分)

物資支援

- 台湾-大中華圏：現地法人の拠点所在地である新北市に「生理の貧困」対策を支援するために、生理用品や紙パンツなどを寄付
- 中国：上海事務所所在地である長寧区の貧困家庭の未成年者(50名)に生理用ナプキンを寄付
- 中国：蘇州市障害者連合会を通して重度障害者に大人用とベビー用紙おむつを寄付(合計571ケース)
- 韓国：亀尾市と「Share Pad Campaign」の協定を締結し、生理用品やベビー用紙おむつなどを寄付(合計約600,000枚)
- 韓国：寝て過ごす障がいのある児童に紙パンツを寄付(6,000枚)

女性起業家支援

- 農村地域に住む女性を支援する「Project Jagriti」による女性起業家を支援
P.110 【地域貢献】女性の経済的自立支援
- インド：NGO団体VIHAANが運営する職業訓練センターでナショナル・ガール・チャイルド・デーのイベントを開催
- インド：世界保健デーにDLF財団と協力して月経衛生教育の促進を目的としたイベントを開催(少女150名以上とDLFボランティア50名が参加)

清掃活動

- ベトナム：「スポGOMIワールドカップ2023」に参加(約1.5kgのごみを収集)
- マレーシア：海洋環境や生態系保護を目的とした清掃活動を実施(社員や家族など74名参加)
P.031 使用後商品の廃棄方法啓発
- オーストラリア：新たに制定した「企業ボランティア方針」に基づき、「Clean Up Australia Day」のボランティア活動に参加し、地元の公園でゴミ拾いを実施

スポーツを通じた地域貢献

- 日本：2020年より、日本プロサッカーリーグJ3、FC今治の「トップパートナー／共生社会実現パートナー」を継続し、今治里山スタジアムで「ユニ・チャーム マッチデー」を開催
- 日本：男子プロテニス協会公認「ユニ・チャーム トロフィー 2023愛媛国際オープン」に協賛
- 日本：プロ野球独立リーグのベースボール・チャレンジ・リーグに所属する福島県の福島レッドホープスをスポンサーとして支援

地域活性化

- 日本：生産拠点のある福島県東白川郡棚倉町、静岡県掛川市、三重県名張市、兵庫県伊丹市、香川県観音寺市、福岡県京都郡苅田町、埼玉県上里町のふるさと納税返礼品に当社の商品を採用
- 日本：企業版ふるさと納税を通じた愛媛県の未来を担う子供たちへの支援活動(次世代球児育成事業／四国中央市電子図書館の児童書購入)

【被災地支援】

災害支援・被災地継続支援活動

- 日本：2011年度より社員参加型マッチングファンドを継続
P.111 【被災地支援】社員参加型のマッチングファンド
- ブラジル：2023年2月にサンパウロの北海岸で発生した大雨による大規模災害の被災者を支援するために「サンパウロ災害基金プロジェクト」を立ち上げ、ベビー用紙おむつ(1,300パック)を寄付
- 中国：2023年12月に甘粛省で発生した地震で被災された方々に生理用ナプキン(560ケース)、ベビー用紙おむつ(50ケース)、大人用紙パンツ(250ケース)を緊急支援物資として寄付